

「いかのおすし」を守ろう！

仙南すこやか園で避難訓練・防犯教室

7月9日、不審者侵入を想定した避難訓練が仙南すこやか園で行われました。地震や火災の発生を想定した避難訓練とは違った緊張感がある中で行われた今回の訓練でしたが、園児たちは終始落ち着き、先生の話をしっかり聞こうとする姿勢を見せていました。

避難訓練終了後には防犯教室が行われ、講師を務めた大仙警察署生活安全課の渋谷富美さんと美郷地区少年保護育成委員会仙南支部の委員2名が、紙芝居を用いながら身の安全を守るための5つの約束「いかのおすし」について解説しました。



美郷から宇宙へ

特別展「謎の宇宙展」

美郷町学友館では現在、「謎の宇宙展」が開催されています。初日の7月13日には開会行事が行われ、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所能代ロケット実験場所長の石井信明氏が「宇宙に浮かぶ身近な星『惑星』の不思議を調べよう!」と題して講演しました。

太陽系の惑星には、地球と同じように水や大気などがあるとされていますが、その姿は地球とまったく異なります。石井氏はそのことに触れながら、講演の中で「惑星の謎を調べることで、地球の将来が分かるかもしれない」と話しました。



「謎の宇宙展」は、宇宙開発の歴史を紹介するパネルやロケットの模型、宇宙服のレプリカなどを展示しているほか、宇宙食やJAXAグッズの販売を行っています。開催期間は8月18日(日)までとなっていますので、この機会にぜひご来館ください。



認知症予防をみんなで考える

医療と健康を考える集い

7月13日、美郷町公民館で「医療と健康を考える集い」が開催され、東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太氏が「脳を鍛え、認知症を予防する」と題して講演しました。

川島氏は脳トレーニングに関するゲームソフトやアプリの監修を行っており、脳科学の第一人者として知られています。当日の講演では、病気の後遺症により認知症となった方が、簡単な計算や短い文章の音読を素早く繰り返す「学習療法」により症状が改善された事例を紹介。川島氏は「脳の健康のポイントは、新聞の速読みなど、普段の生活の中に何かを素早く行う習慣を取り入れることだ」と話しました。

川島隆太氏

高橋正雄氏

各界のスペシャリストから学ぼう

美郷カレッジ

各分野の第一線で活躍されている方々を講師に迎える「美郷カレッジ」を美郷町宿泊交流館ワクスで開催し、7月6日には、筑波大学名誉教授で、旧六郷町出身の高橋正雄氏が「精神医学的にみた夏目漱石～病みながら生きる者への畏敬～」と題して講演しました。精神科医として夏目漱石を分析している高橋氏は講演で、夏目漱石が精神的な状態に陥った時期と、「吾輩は猫である」や「こころ」などの代表作が密接な関係にあることを解説するとともに、夏目漱石について「精神障がい者に対する理解と共感という点で、世界に冠たる作品を残したことは畏敬に値する」と話しました。

また、7月20日には、株式会社秋田今野商店代表取締役社長の今野宏氏が「暮らしの中の微生物を探る」と題して講演しました。秋田今野商店は、発酵・醸造食品に用いられる麹の元となる「麹菌」を製造している企業です。講演では、麹菌が日本の食文化を築き上げてきたことに触れながら、「日本食が日本人としての体質を形成してきた。健康のためにもこれからは発酵食品を積極的に食べてほしい」と話しました。

今野宏氏

MISATOPICS

町の話



タイ王国との交流

ことしもタイ・バドミントンナショナルチームが「美郷キャンプ」を行います！

8月13日(火)から8月18日(日)にかけて開催される「ヨネックス秋田マスタース2019バドミントン選手権大会」に出場した選手とコーチ合わせて8名が美郷町でキャンプを行います。美郷町ホームページやFacebook等で詳しい情報をお知らせしますので、ぜひご確認ください。



世界で活躍しているバドミントン選手のプレーを間近で見てみよう！



タイ・バドミントンナショナルチーム

日程●8月18日(日)～8月24日(土)

会場●美郷総合体育館リリオス

タイ・バドミントンナショナルチーム支援が縁で包括連携協定を締結したヨネックス株式会社のバドミントンチームも美郷町で合宿を行います！



ヨネックス・バドミントンチーム

日程●8月10日(土)～8月11日(日)

会場●美郷総合体育館リリオス

夏は恋の季節と言われますので：一目惚れの話から。「自分は惚れっぽいなあ」と自認している人は、きつと一目惚れの経験があると思いますが、みなさんはいかがでしょうか。まずは自分のことを告白しますと：私にはあります。そして、その一目惚れの結果が我が家に存在しています(とは言っても妻ではありませんよ)。

みなさんは「微宗」をご存知でしょうか。書画の才能に恵まれた芸術家で、中国は北宋時代の第8代皇帝です。私はその微宗の「書」に一目惚れしてしまいました。かつて東京国立博物館で開催されたある企画展で出会ひ、まさにビビッと来ました(この表現、芸能通なら分かりますよね)。結果、「瘦金体」と呼ばれている微宗の書の複製が、我が家の壁に掛かっているという結末です。

なぜ書に興味があるのかというのですが、小学生の頃に書道教室に通って(通わされて)いたからではないかと思っています。その経験が興味の原点になっているように思っています。そう考えるとやはり「経験は大切」で、何かの折に「経験という種」からひょっこりと芽が出て、伸びることもあるということなのだ

経験という名の種

COLUMN WINDS
コラム

風

美郷町長
松田知己



「謎の宇宙展」オープニングセレモニーにてあいさつをする松田町長

ろうと思います。

美郷町がこれまで子供たちいろいろな経験の機会を作ってきたことも、実はこうした期待を込めています。多くの経験の種の中から、一部でいいのでいつの日か芽が出てもらいたい。そしてその芽が、その子なりの個性として伸びていてもらいたいと願っております。ちなみに、今月実施のタイ王国の中学校との生徒交流もそのひとつです。参加する生徒には、積極的にいろいろなことを経験してもらいたいと思います。また、12月にタイ王国から来る中学生は、美郷中学校全員が受け皿となりますので、子供たちには積極的に交流を図ってもらい、良い経験となることを心から願っております。もちろん、大人についても同じです。いろいろな機会に参加し、経験という種をさらに蒔いてもらいたいと思います。そしていつの日か、今までにない一目惚れを経験し、心豊かに人生を重ねていただきたいと思います。ただし身内に叱られない一目惚れを、です。